



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第153号
令和3年12月号

杭州っ子の想いが届いた学習・生活発表会

雲ひとつない秋晴れの好天に恵まれた11月13日(土)、「第14回杭州日本人学校 学習・生活発表会」を開催しました。今年のスローガンは「風に乗って届け みんなの想い～感謝、感動、笑顔、努力、成長～」です。今回のこのスローガンは、杭州っ子みんなの想いが例年以上に込められたものになっていました。

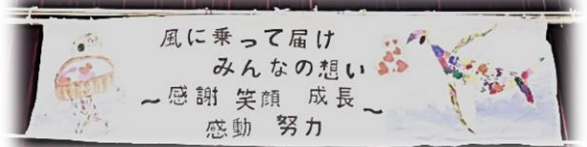
感謝：毎日元気に生活できるのは、自分を支えてくれる家族のお陰。その家族に「感謝」の気持ちを届けたい。

感動：「私たちはこんなことができるようになったよ！こんな勉強をして頑張っているよ！」と、一生懸命に取り組む姿で「感動」を届けたい。

笑顔：「学校は楽しいよ！いつも見守ってくれてありがとう。」という想いを「笑顔」と共に届けたい。

努力：最高の発表をするために、本番に向けて何度も練習を重ね、「努力」してきたその成果を見てほしい。

成長：これまでの学校生活、そして家庭での生活を通して、心も体も一回り大きく「成長」した姿を見てほしい。



校歌の一節「風に乗ってやってきた…」に倣って、5つの想いを「風に乗せて届けたい！」との願いも盛り込んでいます。

当日は、どの発表もこれまでの練習の成果がいかに発揮されており、杭州の空を駆ける秋風に子どもたちの笑顔と想いが広がりました。そうして、杭州っ子みんなの溢れんばかりの想いが、保護者の皆様の心にしっかりと届いたのではないのでしょうか。

こうして学習・生活発表会を無事に終えることができましたのは、保護者の皆様が常々ご家庭で子どもたちを励まし支えてくださったお陰と心から感謝を申し上げます。また、発表会のご感想(アンケート)をたくさんお寄せくださりありがとうございました。ご感想の文面から多くの方に感動と喜びの中、観覧していただけたことが伺え、子どもたちはもちろんのこと、教職員にとっても大きな励みとなりました。

これからも杭州日本人学校への変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

人権週間(12月4日～10日)



今年も瞬く間に時が過ぎ、令和3年(2021年)も早12月、師走に入りました。

「世界人権デー」の12月10日を最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を、日本では「人権週間」と定めています。この期間中は、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く周知するとともに、日本各地で人権意識の啓発活動が行われます。

本校では、12月の生活目標を「感謝と思いやりの気持ちを伝えよう」とし、放送委員会が中心となり、「『ありがとうの木』を育てよう」の活動に取り組んだり、「ありがとうを伝える会」を開催したりします。また、6日(月)の全校朝会では校長から「人権講話」と題して子どもたちの身近な人権問題についての話をします。

人権週間を、「思いやりの心」や「かけがえのない命」、「差別のない社会」について、親子で考え話し合う良い機会にさせていただけたらと思います。